

各種健康診査・がん検診のお知らせ

町では、特定健康診査・後期高齢者健康診査・がん検診を次のとおり実施します。生活習慣の見直しや健康管理のためにも、必ず受診しましょう。

特定健康診査

40歳から74歳までの多古町国民健康保険の加入者を対象に実施します。
5月下旬に、住民課から「受診券」を送付しましたので、ご確認ください。

※健康保険組合、社会保険、共済組合などの加入者は、お勤め先の健診担当者にご確認ください。

後期高齢者健康診査

75歳以上など後期高齢者医療制度の加入者を対象に実施します。
8月下旬に、住民課から「受診券」を送付します。

がん検診

40歳以上のすべての方を対象に実施します。実施時期の前月末に、保健福祉課から「受診票」を送付します。

送付時期
40歳～74歳の方 → 5月下旬
75歳以上の方 → 8月下旬



◆実施時期

(すべての健康診査・がん検診共通)

◎ 40歳～74歳の方 → 6月～9月

◎ 75歳以上の方 (75歳未満の後期高齢者制度加入者の方を含む) → 9月～11月

※従来から多古中央病院で胃がん検診を受診している方については、個別に病院から受診日をお知らせします。

◆実施場所 (指定医療機関)

受診券や受診票が届きましたら、実施時期・予約方法などをご確認の上、次の指定医療機関で受診してください。なお、胃がん検診は予約が必要ですので、ご注意願います。

指定医療機関	特定健康診査 後期高齢者 健康診査	受診できる健康診査・検診名			がん検診	肺炎ウイルス 検診 (※1)
		胃がん	大腸がん	肺がん (胸部レントゲン検査)		
大木内科医院 ☎76-2904	●	●	●	●	●	
箱崎整形外科医院 ☎76-2058	●	●	●	●	●	
さとうメディカルオフィス ☎76-2039	●	●	●	●	●	
石橋内科医院 ☎76-2767	●	●	●	●	●	
多古中央病院内 健診センター (※2) ☎76-7755	●	●	●	●	●	

(※1) 肺炎ウイルス検診は、40歳以上で過去に肺炎ウイルス検診を受診したことのない方のみ、がん検診と同時に受診することができます。

(※2) 多古中央病院健診センターでの検診は予約制となります。電話予約の受付時間は、月～金曜日(祝日を除く)の午後2時～5時です。

◆お問合せ

◎ 特定健康診査・後期高齢者健康診査については…

● 多古町国民健康保険および後期高齢者医療制度の加入者 → 住民課国保年金係 ☎76-5405

● 健康保険組合、社会保険、共済組合などの加入者 → お勤め先の健診担当者

◎ がん検診 (肺炎ウイルス検診) については… ● 保健福祉課健康福祉係 ☎76-3185

多古中央病院から

『鳥インフルエンザと風しん』

文/国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

多古町では3月から4月にかけて、吐き気や下痢などの胃腸症状を主体とする感染症が流行しました。徐々に沈静に向かっていますが、新たに怖い感染症が再び広がっています。発熱、だるさ、吐き気などの強い症状が特徴の鳥インフルエンザにより、中国大陸で多くの死者が発生しており、いつかは日本にも飛び火する可能性があります。「鳥」とついていますが、鳥だけではなく人間に対しても強い病原性を持つているウイルスもありません。発症した場合には、今のところ、日本に出回っている抗インフルエンザ薬が良く効くようです。海外に渡航する場合には、その地域で流行している病気を事前に調べておいたほうが良いでしょう。

海外だけではなく、国内では風しんが流行しています。風しんは風邪とよく似た症状と、全身に赤い斑点が生じてくるのが特徴ですが、皮膚症状が出ないこともあります。風しんが特に話題に上りやすい理由の一つに、妊婦が感染すると、胎児に後遺症が残ることがあるからです。昭和54年4月2日から昭和62年10月1日生まれまでの方は、女性でも風しんの予防接種を受けていない可能性があります。出産を考えている方は、今一度ご確認ください。

【病院便り】

多古中央病院の受付時間は、午前11時30分までとなっています。急患に限り時間外も受け付けています。設備と人員の関係上、適切な医療機関への紹介をさせていただく場合があります。

近隣の医療機関を受診されている方で当院を受診する際には、お薬手帳など投薬内容が確認できるものを持参してください。



風しんは男性でも発症する病気だから、僕もしっかり予防接種を受けるよ

らっしゃる方は確認のうえ、予防接種を受けることをお勧めします。なお、5月現在、風しんのワクチンが不足しており、麻しん・風しん混合ワクチンをお勧めしています。

追跡レポート! ———— この職業・この人たちの24時間



生花店の一日

紹介者: 齊藤 智明さん(高根)

店は3人体制で、午前8時30分に開店し午後7時に閉店します。開店後は、販売業務をしながら花の手入れや水揚げ(水の吸い上げをよくする処理)、注文を受けた花束などを作りながら品ぞろえの確認をしたり、仕入れの計画を立てたりするなど翌日の準備をします。これが基本的な一日の仕事の流れです。花の仕入れをする日は、店は2人に任せて大田市場での競りに参加するため朝5時ころに出かけます。インターネットを使って競りに参加することもできますが、やはり実物を目で見て確認したほうが、安心してお客様に販売できるので直接市場へ足を運んでいます。仕入れた花は、車に積み込み店へ運びます。切り花は鮮度を保つため、素早く水揚げをして冷蔵ショーケースへ移し陳列します。

春と秋の彼岸やお盆、卒業・入学シーズンや母の日などの頃は忙しく、仕入れの量も普段と比べて多くなるので、力仕事になります。きれいな花に囲まれて、華やかなイメージがありますが、花は生きものなので、水を換えたり、手入れをしたりと毎日の世話が欠かせません。加えて、水を使うので特に冬場は寒さがこたえます。

家が花屋なので、この仕事は私にとって小さいころから日常的な光景でした。仕事が大変なのはみな同じなので苦勞とは思いませんが、アレンジした花束が喜ばれ、お客様の笑顔を見ることができた時はとてもうれしく、特に子どもの笑顔は仕事の励みになります。

花は心のビタミンと言われていて、花とふれあうことで心が癒やされて元気になると、笑顔があふれてきます。

この仕事を通じて多古町をはじめ、よりたくさんの人に笑顔になっていただけるようにこれからもがんばりたいと思います。



取材協力: フラワーショップ サイトウ